

平成28年度e・アンケートモニター  
第2回アンケート No.1 調査結果  
テーマ「地球温暖化問題について」

I 調査の概要

1 調査の目的

二酸化炭素等の温室効果ガス排出量増加による地球温暖化問題は、私たち人間の活動が原因である可能性は極めて高いといわれており、県民、事業者、行政がそれぞれ連携して対策を進める必要があります。

また、山口県全体の二酸化炭素排出量は、近年、減少傾向にあるものの、家庭からの排出量は増加しており、家庭における一層の削減の取組が重要です。

このアンケートは、今後、山口県において、地球温暖化対策の取組を推進していくための基礎資料として御意見を伺うものです。

2 調査実施期間

平成28年9月14日(水)～9月28日(水)

3 調査対象

平成28年度e・アンケートモニター 85人

4 回答状況

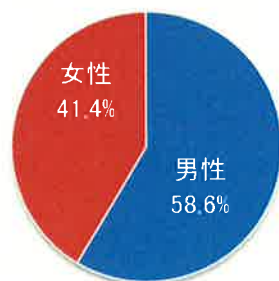
回答者 70人(回答率 82.4%)

5 調査担当課

山口県環境生活部環境政策課

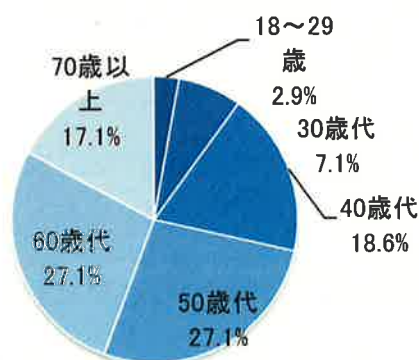
II 回答者の属性

■性別



区分	人数	%
男性	41	58.6
女性	29	41.4
計	70	100.0

■年代別



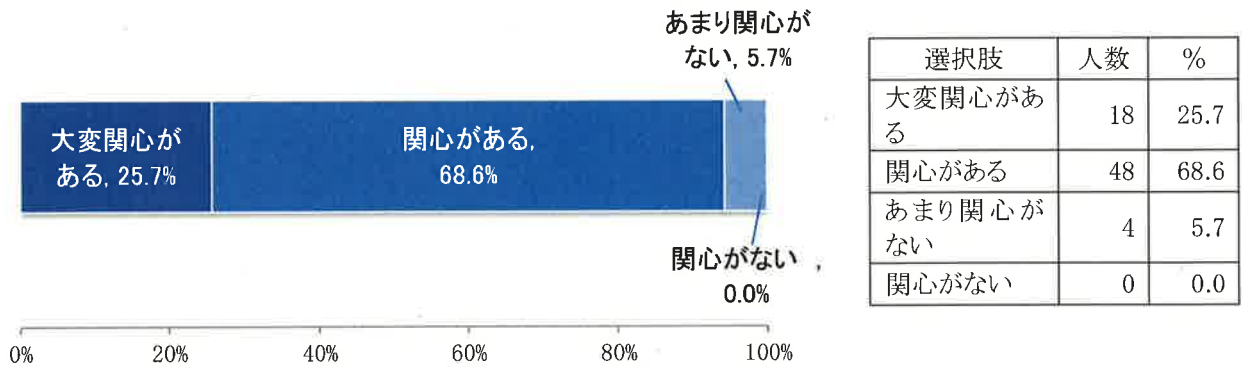
区分	人数	%
18～29歳	2	2.9
30歳代	5	7.1
40歳代	13	18.6
50歳代	19	27.1
60歳代	19	27.1
70歳以上	12	17.1
計	70	99.9

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合があります。

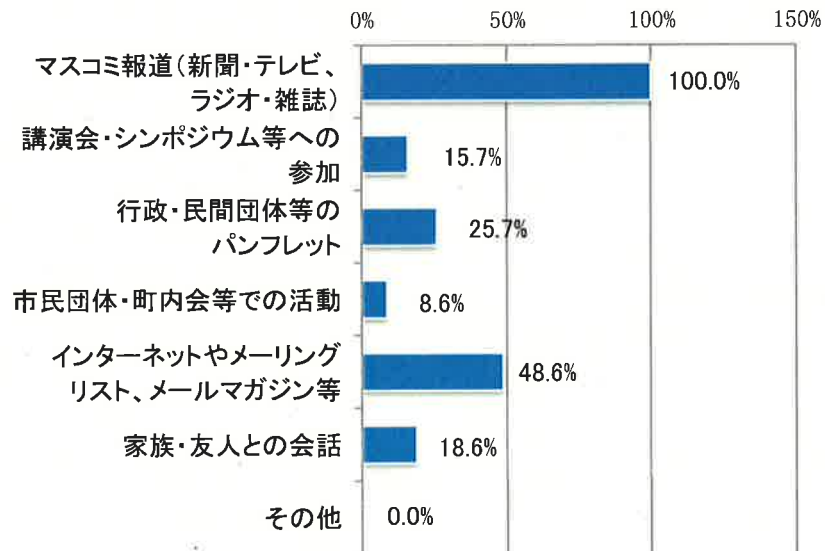
### Ⅲ 調査結果

#### 1. 地球温暖化問題について

問1 あなたは地球温暖化問題に関心をお持ちですか。(1つのみ)



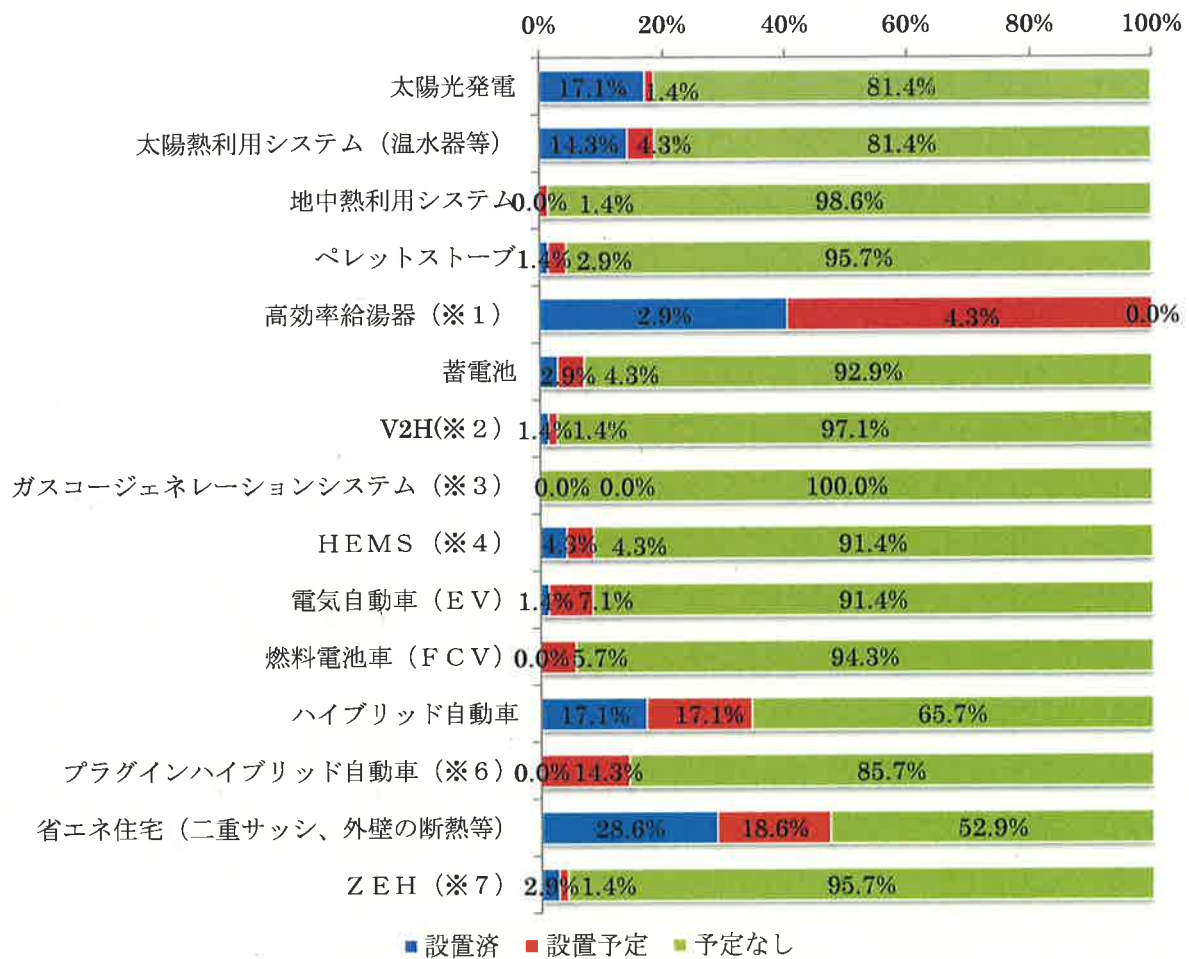
問2 あなたは、地球温暖化問題など環境に関する情報を何から得ていますか。(いくつでも)



選択肢	人数	%
マスコミ報道(新聞・テレビ、ラジオ・雑誌)	70	100.0
講演会・シンポジウム等への参加	11	15.7
行政・民間団体等のパンフレット	18	25.7
市民団体・町内会等での活動	6	8.6
インターネットやメーリングリスト、メールマガジン等	34	48.6
家族・友人との会話	13	18.6
その他	0	0.0

(複数回答)

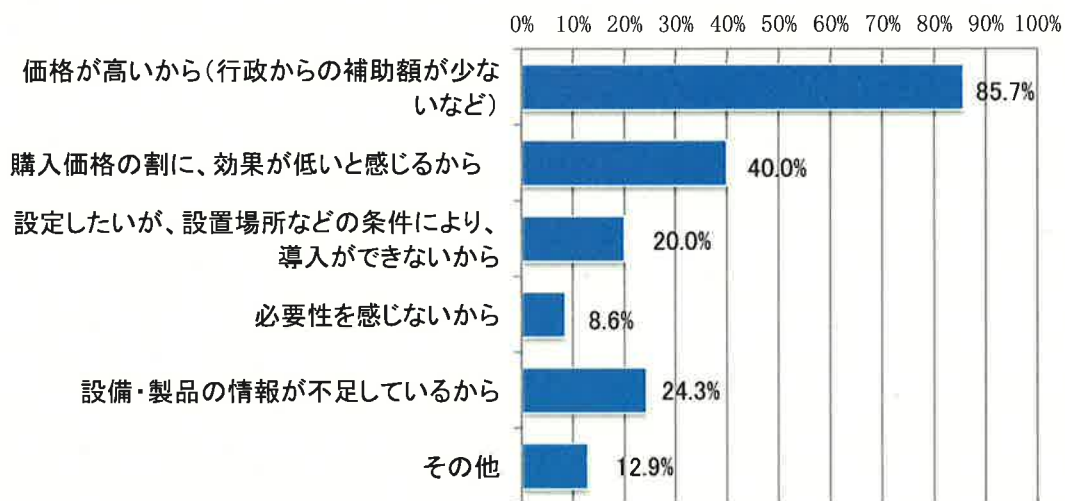
問3 あなたのご家庭において、以下の再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器等を導入していますか。(それぞれ1つずつ)



選択肢	人数			%		
	設置済	設置予定	予定なし	設置済	設置予定	予定なし
太陽光発電	12	1	57	17.1	1.4	81.4
太陽熱利用システム(温水器等)	10	3	57	14.3	4.3	81.4
地中熱利用システム	0	1	69	0.0	1.4	98.6
ペレットストーブ	1	2	67	1.4	2.9	95.7
高効率給湯器(※1)	17	5	48	24.3	7.1	68.6
蓄電池	2	3	65	2.9	4.3	92.9
V2H(※2)	1	1	68	1.4	1.4	97.1
ガスコージェネレーションシステム(※3)	0	0	70	0.0	0.0	100.0
HEMS(※4)	3	3	64	4.3	4.3	91.4
電気自動車(EV)	1	5	64	1.4	7.1	91.4
燃料電池車(FCV)(※5)	0	4	66	0.0	5.7	94.3
ハイブリッド自動車	12	12	46	17.1	17.1	65.7
プラグインハイブリッド自動車(※6)	0	10	60	0.0	14.3	85.7
省エネ住宅(二重サッシ、外壁の断熱等)	20	13	37	28.6	18.6	52.9
ZEH(※7)	2	1	67	2.9	1.4	95.7

- ※1 「高効率給湯器」:給湯熱効率が90%以上である給湯器(エコキュート、潜熱回収型給湯器など)のこと。
- ※2 電気自動車に蓄えた電気を住宅に供給する設備
- ※3 ガスを使って電気と熱を取り出し利用するシステム(エネファーム、エコウィル)
- ※4 「HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)」:家庭での電力使用量や太陽光発電システムの発電量等をパソコン・タブレット等で「見える化」し、効率的な電気の利用と節電を行うシステム
- ※5 水素と酸素の化学反応によって作られる電気を使用してモーターで車を駆動させる自動車(静かで走行中に排出するのは、水素と酸素の化学反応で作られる水だけです。)
- ※6 外部電源から充電できるタイプのハイブリッド自動車(排気ガス等を出さない電気自動車のメリットと遠距離走行ができるハイブリッド自動車の長所を併せ持つ自動車です。)
- ※7 「ZEH(ゼロエネルギーハウス)」:太陽光発電などでエネルギーを創ることにより、家庭での年間の消費エネルギー量(空調・給湯・照明・換気)の収支をプラスマイナス「ゼロ」にする住宅

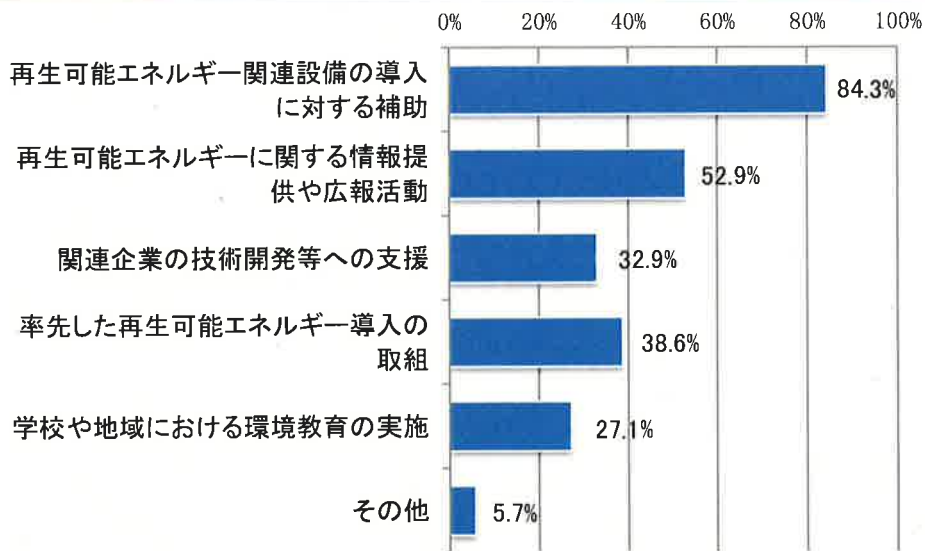
**問4 あなたは、再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器等が導入しにくい理由は何だと思いますか。(いくつでも)**



選択肢	人数	%
価格が高いから(行政からの補助額が少ないなど)	60	85.7
購入価格の割に、効果が低いと感じるから	28	40.0
設定したいが、設置場所などの条件により、導入ができないから	14	20.0
必要性を感じないから	6	8.6
設備・製品の情報が不足しているから	17	24.3
その他	9	12.9

(複数回答)

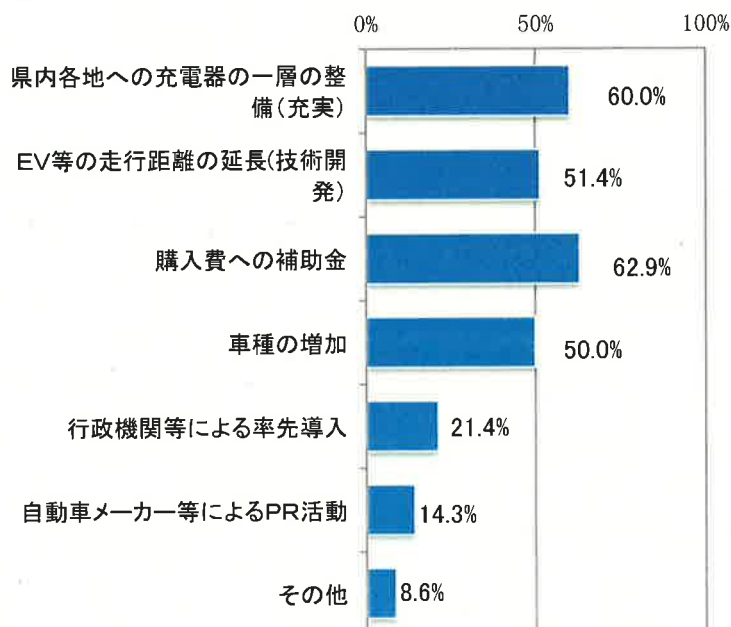
問5 再生可能エネルギー設備の導入促進のため、行政が取り組むべきものは何だと思いますか。(3つまで)



選択肢	人数	%
再生可能エネルギー関連設備の導入に対する補助	59	84.3
再生可能エネルギーに関する情報提供や広報活動	37	52.9
関連企業の技術開発等への支援	23	32.9
率先した再生可能エネルギー導入の取組	27	38.6
学校や地域における環境教育の実施	19	27.1
その他	4	5.7

(複数回答)

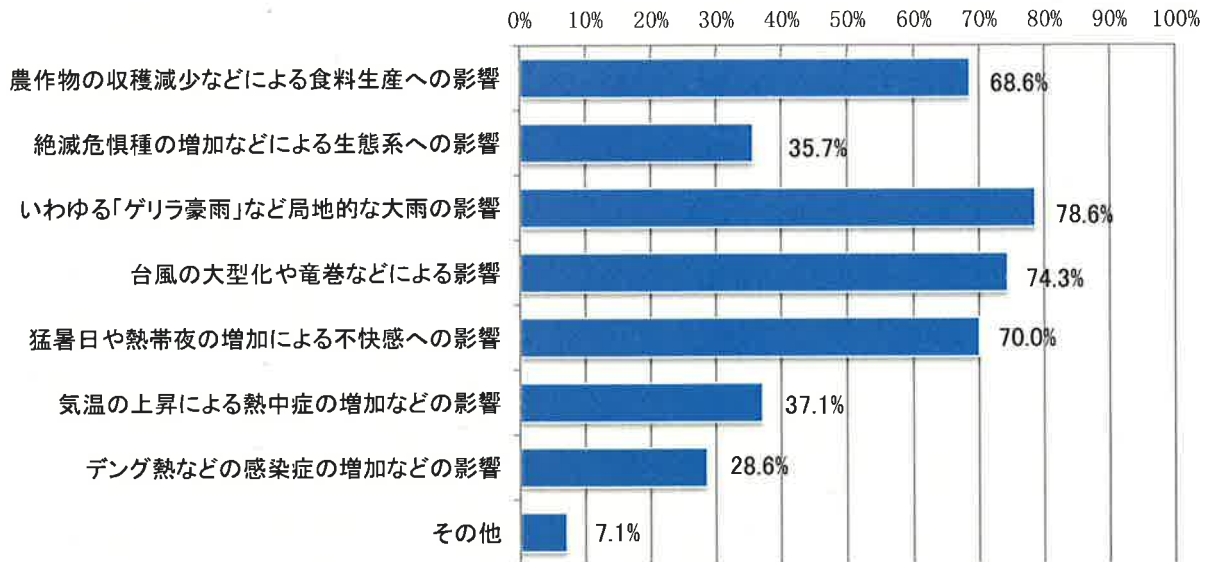
問6 現在、県内では、電気自動車等の充電器の整備が進んでいます(※平成28年6月末で、急速充電器135基、普通充電器221基)が、電気自動車等のより一層の普及、拡大のためには、どのような取組が必要と思いますか。(3つまで)



選択肢	人数	%
県内各地への充電器の一層の整備(充実)	42	60.0
EV等の走行距離の延長(技術開発)	36	51.4
購入費への補助金	44	62.9
車種の増加	35	50.0
行政機関等による率先導入	15	21.4
自動車メーカー等によるPR活動	10	14.3
その他	6	8.6

(複数回答)

問7 あなたは、将来的な地球温暖化の影響として、どのようなことを不安に感じますか。  
(いくつでも)



選択肢	人数	%
農作物の収穫減少などによる食料生産への影響	48	68.6
絶滅危惧種の増加などによる生態系への影響	25	35.7
いわゆる「ゲリラ豪雨」など局地的な大雨の影響	55	78.6
台風の大型化や竜巻などによる影響	52	74.3
猛暑日や熱帯夜の増加による不快感への影響	49	70.0
気温の上昇による熱中症の増加などの影響	26	37.1
デング熱などの感染症の増加などの影響	20	28.6
その他	5	7.1

(複数回答)

問8 地球温暖化の対策として、温暖化による影響や被害を軽減することを「適応」と言いますが、あなたは、「適応」という言葉を知っていましたか。(1つのみ)

【適応策の例】

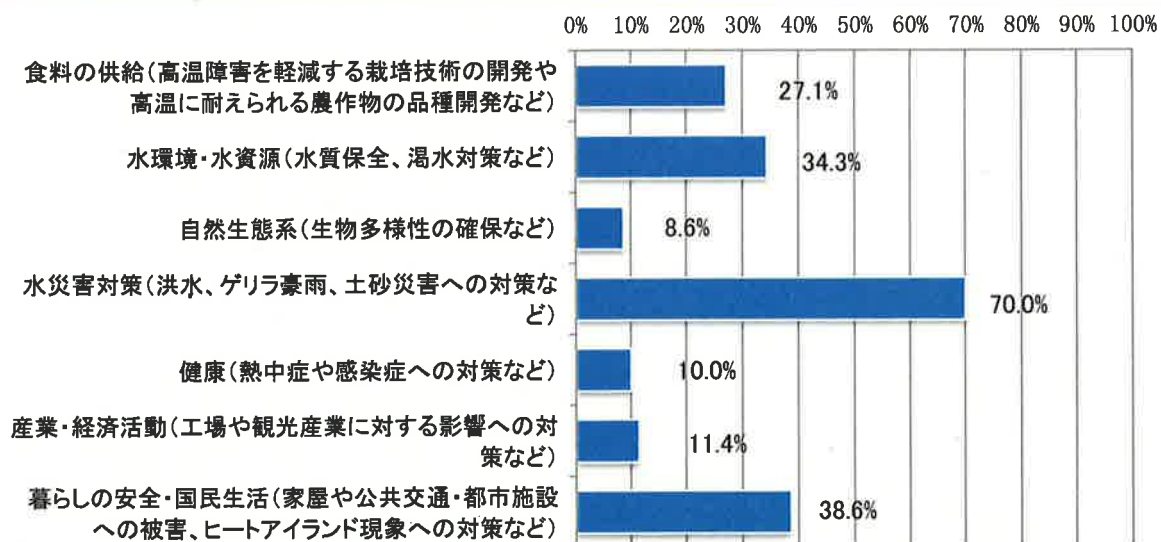
- ・ 農作物栽培の適地が移動することに対する農作物の転換
- ・ 局地的豪雨の増加などによる土砂災害や洪水などの災害予防
- ・ 猛暑日の増加などに対する熱中症の予防



選択肢	人数	%
知っていた	21	30.0
知らなかった	49	70.0



問9 地球温暖化による、気候変動（猛暑や局所的な大雨などの、極端な気象現象の増加など）の影響に対処するために県が優先的に進めていくべき適応策はどの分野だと考えますか。（2つまで）



選択肢	人数	%
食料の供給(高温障害を軽減する栽培技術の開発や高温に耐えられる農作物の品種開発など)	19	27.1
水環境・水資源(水質保全、渇水対策など)	24	34.3
自然生態系(生物多様性の確保など)	6	8.6
水災害対策(洪水、ゲリラ豪雨、土砂災害への対策など)	49	70.0
健康(熱中症や感染症への対策など)	7	10.0
産業・経済活動(工場や観光産業に対する影響への対策など)	8	11.4
暮らしの安全・国民生活(家屋や公共交通・都市施設への被害、ヒートアイランド現象への対策など)	27	38.6

(複数回答)